

平成 30 年度第 1 回日進市地域公共交通会議 議事録

日 時 平成 30 年 5 月 25 日 (金) 午前 9 時 30 分から
 場 所 日進市役所 4 階 第 4 会議室
 出 席 者 松本幸正 (会長)、川口洋子 (委員)、古川寿雄 (委員)、小林裕之 (代理出席)、
 多田直紀 (委員)、近藤博之 (委員)、松本謙治 (代理出席)、河合貴夫 (委員)、
 早川元康 (委員)、塚崎有里 (代理出席)、中根卓矢 (代理出席)、二輪昭宏 (委員)、
 増田健二 (委員)、小宮山享 (委員)、鈴木直宏 (代理出席) 新見春子 (委員)、
 二村裕之 (委員)、寺田裕美 (委員)、大竹弘真 (委員)、青山雅道 (委員)
 欠 席 者 林孝 (オブザーバー)
 事 務 局 市民生活部生活安全課
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 あり (8 名)
 報 告 事 項 (1) 平成 28 年度と平成 29 年度の運行実績比較
 議 題 (1) 平成 29 年度歳入歳出決算について
 (2) 平成 30 年度歳入歳出予算について
 (3) 平成 31 年度生活交通確保維持改善計画について
 (4) その他

発 言 者	内 容 (要 旨)
事 務 局	それでは会議の方へ移りたいと思います。 (会議公開・傍聴者入室)
事 務 局	それでは、会長に議事進行をお渡しします。
会 長	では議題に入りたいと思います。 報告事項 平成 28 年度・平成 29 年度の運行実績比較について
会 長	事務局より報告をお願いします。
事 務 局	(資料確認・資料に基づき説明)
会 長	ありがとうございます。以上がくるりんばす、そして名鉄バスさんに移管した日進中央線の報告でした。この協議会は法定協議会ということで、公共交通全般を扱うということですので名鉄バス、路線バスの報告もいただければと思います。近藤委員よろしく願いいたします。
委 員	当日配布の名鉄バス日進市内の運行路線の利用者数についてのペーパーをご覧ください。平成 28 年度と平成 29 年度の比較を示しています。特筆すべき点は、高速バス路線の名古屋高針線、名商大線です。名商大線ですが日進のくるりんばすと少し競合というか、被っていますが、補完しながら頑張っている路線であります。当社の独自の路線でありまして、高校や大学への輸送が主であり、近隣の高校等と密に連絡をとりあい、テストケースとして夏休み・春休みには運行を絞り、乗務員への負担を減らす試みをしている路線ですので、ご注視ください。 祐福寺や豊明団地線は乗降客数が伸びたり減ったりしていますが、これは昨年再編

発 言 者	内 容 (要 旨)
	し、利用が少ない徳重―赤池間の部分に関して減便をかけ、前後―赤池は一時間に一本走らせ、祐福寺―豊明団地を交互に走る形にした関係でブレが出てきたと考えます。また、日進中央線については、平日12人/便、休日7人/便、平日11人/便となっています。特に利用者が多いバス停につきましてご紹介します。竹の山1丁目、学生の通学利用と思われる愛知淑徳大学南、岩崎台東、石兼、日進市役所、蟹甲は30人/日以上利用があります。日進中央線の収支ラインとしては、独自で運用できる利用人数には達していないため、ロコミ等で利用促進をしていただければ大変助かります。
会 長	以上、バスの利用人数ということでご報告いただきました。ありがとうございます。この報告につきまして、ご質問やご意見など、なんなりといただければと思います。いかがでしょうか。
委 員	<p>老人連合会の代表、小宮山でございます。前回は尋ねたのですが、データが前年との比較となっていますね。余計そうなのですが、去年に値上げという、制度の改定があったわけですから、どういうところを目指すべきか当然計画があったはずなので、自分たちの計画との対比をすべきだと思います。計画がなかったとも伺っておりますが、来年度はこうしようという意図を明らかにすべき。何点かありますので、質問します。</p> <p>まず、三本木線と名鉄バス名商大線の競合についてですが、名商大線は1万4千人増、くるりんばすは2万7千人減っています。これは、くるりんばすの利用が落ち込み、名鉄バスでも補いきれなかったということでしょうか？</p> <p>くるりんばすの料金収入減は、無料対象者や定期券収入の増加が原因であるとしていますが、言い換えれば、本来はこれらの人が200円払うべきところ払っていないから収入が減っていると、こういうことを言っているわけです。事実そうですが、私は、今まで高齢者定期券の制度を知りませんでした。知らない人、結構います。これをどんどんPRして、料金値上げで使わなくなった人を、定期券を使ってもらって積極的に利用していただくべきだと、こう思うわけです。</p>
会 長	ありがとうございます。3点ありますが、事務局の方、お願いします。
事 務 局	<p>順番にご回答させていただきたいと思います。</p> <p>目標との比較をすべきだというお話ですが、少なくとも現状、再編を実施することで平成32年までに達成すべき目標（公費負担率、収支率、路線ごとの利用者数）を立てています。年間の目標につきましては、昨年度は再編に伴うバス停等の新設や、路線ごとの運行をトラブルなくしっかりと運行するなど、きっちりと切り替えることが我々の第一の目標でした。したがって、1年に何人という個別に数値の目標は立てていません。また、再編後に利用者数が減少することは以前からわかっており、前々回の再編で新たにくるりんばす中央線を追加し、便数は1.25倍したにもかかわらず、従前より利用者は2割減りました。改変があるとダイヤを変わりまして、たとえばパートに間に合っていた人が間に合わなくなるなど、不便になった人は利用を直ちにやめてしまっていますが、便利になった人が直ちに公共交通に切り替えることはあまりありません。前回の再編も再編から4年経ち、ようやく利用者が再編前を超えてきたという状況で</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
	<p>あります。これらを加味すると、改編後どのような数値になるのか判然としない中で数値目標を設定することは困難でありますので、平成32年に向かい、再編前より良いもの、利用者数を増やしていきたいという思いのもと、前年比較をメインにお話をさせていただきました。逆に言えば、今目標を立てるべきだという話だと思います。ですので、この会議の中でたとえば、来年に向かい、5%利用者数を伸ばしましょう、などの目標を提案していただき、毎月どういった運行状況なのか検証していく方法はいい手立てだと思いますので、そういった数値目標をたとえば次回の会議で設定していただき、達成度はどのくらいであるのかチェックしていくのもよいのかなと思います。</p> <p>二点目は、中央線はよかったがくるりんばすが結果として落ち込んだという理解でよろしいでしょうかというご質問でした。これについては、結果通りでありまして、中央線が頑張った分、くるりんばすは落ち込んだということです。くるりんばすに乗車していただいていた方が、中央線はじめ他の名鉄バス路線に流れていっているという現状があるのではないかと考えております。</p> <p>最後に、定期券を作ったから収入が減ったという説明はおかしい、もっと定期を周知して使ってもらうべきだというご提案でした。まさに、収入を増やす一番良い方法は利用者数を増やすこと、これは間違いありません。我々も収入を増やすことではなく、利用者数を増やすことを望んでいますが、ほかの名鉄バスさん等の需要を取ってまで増やす方法ではなく、民間さんに担ってもらえる分は民間さんに任せ、あまり外出をされないような方に外に出てもらい使ってもらえるような形で利用者を増やしていきたいと考えております。今回も、アンケート調査を行いたいと思いますが、ただ行うのではなく、「お得な定期券があるのをご存知でしたか？」などのある種宣伝効果を持つ項目を入れてみたり、予算が許せばくるりんばすの定期券などのチラシを作ってみたりPR事項を付けるといったことも考えられるのかなと思います。</p> <p>前回、古川委員からお話がありましたが、愛知淑徳大の学生さんたちに、お店や施設が載っている路線ごとの沿線マップを作ってもらいました。アンケートだけでなく、こういったものを積極的に活用してもいいと思います。実は、社会福祉協議会から200人規模の大規模なイベントがあると聞いていますので、こういったチャンスを逃さずに周知していこうと思っていますので、よろしく願いいたします。</p>
委 員	<p>3つ質問しましたが、最後はわかりました。2番目は私の質問が悪く、誤解を招いたようですが、三本木線と名商大線がほぼダブっているため、両方足してもマイナスですとそう申し上げたかった。それで、お願いなのですがね、せっかく名鉄さんがこういう資料をだしてくださったのだから、この地区ごとに全体でどうなっているのかという分析をしっかり行ってもらってですね、またご説明いただきたいと思います。</p> <p>それから、一番大事な件ですが、たしかに新しい仕組みを導入したときどうなるかはわかりません。だから計画立てるけど狂う可能性ものすごく高いです。だから計画立てませんっていうのは違う。違うのだけど計画立てるのです。そういう風に持っていくましようってやるべきじゃないかということですね。そうしないと次のステップ</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
	<p>進めませんよ。ですから、ぜひ計画を作ってください。今からでもいいので。ただ、今おっしゃった、みんなで議論して5%という計画にしますか、というのは冗談じゃないですよ。5%に何か根拠あるのですか。ちゃんと計画っていうのは、こういう根拠、こうであろうといういろんな前提を考えて、路線の数、乗車率、季節要因、いろんなものを考えてそれを積み上げて計画っていうのを作りますよ。ただ単に5%、そんなの計画じゃないですよ。ほんとの計画を作って、我々は、すべてのことがうまく行ったら、こうやろうって、それを目指してみんなで頑張ろうというのが計画なんだ。それをぜひ作ってほしいということです。要望です。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。三本木線はそうですね、名鉄バスと合わせても利用者が減っています。減ったところが何に代わっていったのか調べていかないといけないのかなと思います。送迎が増えたのか、あるいは自転車での移動が増えたのか、これは見ていかないといけない、おっしゃる通りだと思います。それから、計画はですね、資料11ページにございまして、地域公共交通確保維持事業の定量的な目標効果と書いてあるのですが、これ実は公共交通網形成計画に書かれている計画目標です。ただし、目標年次が平成32年なのですね。かつ、目標を達成するためにやることも書いてあるのです。それが、地域公共交通再編実施事業に合わせて行う事業に示されています。ただ、年度ごとがないのですよ。もう少し言うと、網形成計画では、中間評価は行うのですが、一年ごとには行わないのですね。だから、中間評価・最終評価に向けて、たとえば線形で伸びるとしたときに年度ごとの乖離を見る、というのは大事なかもしれません。ただ、5%とかは先ほど言われたように根拠ないので、その上でどうやってやるのっていうのが大事かもしれませんね。おっしゃる通りです、ありがとうございます。それから、PRなのですが、我々結構PRしているつもりなのですよ。この会議で、前のメンバーにもいろいろご協力いただきながら、それぞれの団体にも持ち帰ってもらったりとか、あるいは交通事業者さんにもいろいろやっていただいていたりと、でも届かないのですよ。なぜかと言いますと、ほとんどの方々は、バスに興味がないのです。名鉄バスさんなんかは新聞広告にも入れてもらっていたと思うのですが、ほとんどの方見てないのですよ。たまたま小宮山さん、この席につかれて気になって見られていると思うのですが、ほとんどの方見てないのです。逆に市民の方にお聞きしたいのですが、どうやったら届きますかね。広報にも入れています、名鉄バスさんは新聞広告も入れてもらっています。HPでは当然やっています。でも届かない。何かいいアイデアありますか。</p>
委 員	<p>川口と申します。にしん夢まつりなんかは、結構市民の方たくさんみえるのですね。ですので、そこでくるりんばすのコーナーを設けてみるのはどうでしょう。また、子どもさんたちとか、若いお母さんたちに乗ってもらうように、くるりんばすの日を毎月作って、日曜日とかに乗ってもらうと、たとえばプライムツリーと協賛して、何かもらえるとか、スタンプを押してもらって、いくつかたまとくるりんばすのチョコQが貰えるとか、缶バッチが貰えるとか、夢まつりでスタンプカードを配布して、翌年</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
	の夢まつりにそれを持ってきてもらって、スタンプ数に応じて何か景品があるとか。子どもたちは無料ですが、親から収入が増えるのではないのでしょうか？
会 長	ありがとうございます。いいアイデアですよ。どうでしょうか？
事 務 局	いいアイデアです。もちろん予算が決まっていますので、やれる事業を取捨選択していかなければなりませんけれども、そういう前向きなアイデアは、取捨選択する上でも、選択肢として加えていかなければならないなど。ただ実は、我々市民まつりで毎年くるりんばすの車両を展示していきまして、お子様が制服にお着替えできて、さらに体験していただいたお子様全員にチョコQを差し上げました。とにかく、くるりんばすを前面に押し出す取組も実は行っております。しかし、今先生からもありましたように、くるりんばすに興味がない、一度も乗ったことがないという層がかなりいます。アンケート調査をすると、くるりんばすを利用している人は市民の1割程度であるということが分かっています。残りの9割の人に、一度でも乗ってもらいたい、乗ったうえで使えるか使えないか判断してもらいたいと事務局では思っています。その仕掛けの案を考えているところでございます。先程のように、くるりんばすの日をつくるというのは一つの案であると考えております。それを実行する上で、収支がどうなるのか、ロイヤリティを払わなければならないのであればそれを考慮しないといけない。例えば一つの案として、先ほどのアンケートに200円分の乗車券と手紙を付けて、一度でも乗っていただきたいと訴えかけて、一度も乗ったことのない層に乗ってもらえる機会を作りたいと考えております。ただ、金券の類を郵送していいのかどうか、アプローチとして、金券をばらまくのが果たして正しいのか、法的には弁護士相談もしまして問題なさそうですが、予算も少ないので、それも考慮したうえで、検討していこうと思っております。目途が立ち次第、またご報告させていただきたいと思っております。
会 長	ありがとうございました。くるりんばすの日を設定するのはお金かからないですよ。くるりんばすの日無料にしろと言われてないですよ。くるりんばすの日に乗ったら、例えばプライムツリーで何かもらえると、ポイントがたまるとかそういうことですよ。ちなみに日進市はエコ通勤の日とか何かあるのですか？
事 務 局	エコモビの日というのが愛知県さんで定められておきまして、それに合わせて日進市も第一水曜日にエコモビの日として定めてやっております、職員駐車場も水曜日は比較的空いています。
会 長	他に日進市で定めている日はありますか？
事 務 局	社会奉仕の日などがあります。
会 長	じゃあ、くるりんばすの日を定めてもいいですよ。それに協賛していただけるような、企業さん・商工会の方に何かやっていただけないですかと、そうお願いするだけでいいと思うのですがね。ご検討よろしくお願いたします。
委 員	二つあります。一つはね、宣伝ということですが、これにはお金のかかるものとかからないものがありましてね、一つはお金をかけてメディアに載せるということですね。当たり前ですけど。チラシを作るとかね。それもお金かかりますけど。一つはね、広報

発 言 者	内 容 (要 旨)
	<p>という格好で、メディアに記事を書いてもらおうと。日進では、今度くるりんばすはこういう風に変えましたよということをごすね、こういう形でお金を使わないでいい方法もあります。市役所にも、記者クラブあると思いますので、地元が一番シェアの高い中日新聞、朝日新聞、あるいはテレビ、そういう広報をしていくと。それからもう一つごすね、わたし長い間東京にいましてね。60 くらいまでいたかな。同級生が地下鉄みんなただになるのごすね。そしてそれから名古屋に帰ってきて、名古屋でもみんなタダになると。私は日進に住んでいてね、まったく恩恵を受けないと。日進の家を売り払って名古屋へ引っ越そうかなと、そう思ったわけごすね。今回、こういう会に出させてもらってね、高齢者の定期があるっていうのはなんとなく人伝いで聞いてはいたのですが、わかんないのごすね、それが。バス乗りますとね、定期券はここで売っていますっていうのは告知されているのごすね。ここで買える定期は 65 歳ならいくらっていうのはどこにも書いてないのごすね。それ一生懸命しらべました。それで、やっと見つけたと思ったら、そこにあります、時刻表、それをずーっと調べました。あ、あったあったと。だから、そういういいことはもっと目に触れるようにしたほうがいいのじゃないかと。それから、65 歳以上の定期券、もともと東京とかの高齢者の無料パス、そういうのから始まったのごすね。タダはおかしいっていうので 5 千円くらいとるようにしたと思うのごすね。あれは本当にうらやましいと思いましたね。それらの定期券については、高齢者用と言っているのごすね。だから高齢者用と謳えばいいと思うのごすね。年寄りのなかにね、年取るとかね、そういうの嫌がるのもいるけどね、高齢者用の優遇定期あるよ言えばね、多少嫌がるかもしれないけど、ああそうなのって飛びついてくると思うのごすね。ネーミングも含めてどうやって告知をしていくか、この二つは検討していきましょう。</p>
会 長	<p>はい、いいアイデア頂いたと思います。車内にもう少しわかりやすい掲示の検討をよろしくお願ひいたします。それから新聞記事には結構載るのごすね。中日新聞の地方版には結構取り上げていただくのごすね、これもさっきと一緒に、興味がない方は読み飛ばされちゃっていると思います。そして、中日新聞、この辺りだと瀬戸の方が人口多いので、そっちの記事が載るというのもあるのごすね。その辺も含めてぜひ、積極的に投げ込みをして、皆さんに知っていただくということをお願ひしたいと思います。実際はごすね、一番効果的なのは口コミです。これに勝るものはないごすね。ご利用いただいて、こんな風に使えよと伝えていただければ、スーッと広がっていきますので、ぜひ市民の方々、そういう風に口コミをお願ひしたいと思います。ありがとうございました。ほかに何かごすねませんか？では、古川委員よろしくお願ひいたします。</p>
委 員	<p>先ほど名鉄バスにご説明いただいたのごすね、その中で日進中央線の 2016 年度と 2017 年度の比較がありまして、2016 年度は日進市がやっていたので空白になっていますが、この数字はどのくらいになるのか教えていただけませんか。</p>
事 務 局	<p>先ほどの 1 ページのオレンジ色の線です。76380 人です。</p>
会 長	<p>その他ありませんでしょうか。二村委員お願ひいたします。</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
委 員	名鉄バス中央線が、市役所に入ってこないようになったため。使いにくくなってしまいました。
会 長	現状ですと市役所の東側の県道にバス停が設置されました。我々ですと少し歩けばよいのですが、確かに車いすの方や、足腰が不自由な方はちょっと大変なのだなと思います。ただ、市役所に入ってきてしまうと、余計な時間を使ってしまうのですね。しかし、今後そのようなことも含めて検討する必要があるかもしれません。何よりも、空間を整備していただけるといいですよ。待っていただける空間が。そのへんどうですか？
事 務 局	少し先の話で、市民の皆様の意見がどうなるかわからないですが、日進市は道の駅というものが数年後に完成する予定となっています。たとえば、バスの待合を今後そちらに移した方がいいのかどうかということも含め、問いかけていかなければならないと考えています。ただ、今回の再編も「市役所で乗換をさせてほしい」という意見が多数あったことから、ここに残したという経緯もありますので、我々が勝手な判断で道の駅に移した方がみんな喜ぶだろうとあって、勝手に動かすこともできないので、やはりアンケート調査を道の駅完成の前後に一度ずつ行い、慎重に考えていくべきだと思っています。安全面等様々な面からみて、そちらの方が良いと考えられるかもしれませんので、市民の皆様の意見等をもとに判断を進めていきたいと思っています。
会 長	ありがとうございます。ちなみに、市役所から日進市役所バス停までのルートはバリアフリーになっているのですか？
委 員	なっています。ただ、歩道が狭いので車いすで長時間待機することはなかなか難しいです。
会 長	わかります。市道ですので、何とか整備をよろしくお願いします。少し先の話になるかもしれませんが、アメリカなどでは、日本のよりも簡単に手軽なリフト付きのバスがあります。日本にも早く導入されて利用できるようになるといいですね。では、他にございますでしょうか。寺田委員お願いします。
委 員	よく聞く意見として、にぎわい交流館に定期券を買いに行ったときに、明日からの定期券がほしいのに購入日からの定期券しか購入ができないというものがあります。また、定期券をくるりんばすに200円払って買いに来たのだから、その分をまけてくれという話も聞きます。アンケートのお礼で乗車券が配れるなら、購入者に相当額の無料券を渡すことくらいはできるのかなと思いました。 また、障がい者の方から、スポーツセンターにくるりんばすが止まらなくなったのは不便だと聞きます。市役所から蟹甲の交差点を渡って向かうそうです。中央線はスポーツセンターの裏につきますが、だれもがそれに乗るわけではないので。やはり、公共施設は、だれもがこういうコミュニティバスで寄れるようにあるべきじゃないかなと思います。 また、市民会館で夜にイベントをするときに、行きは5時台のバスに乗ればよいで

発 言 者	内 容 (要 旨)
	<p>すが、帰りのバスがないのですね。市民会館では、結構たくさんイベントをやりますので、何とかしてほしいという要望を多く聞きます。よろしくをお願いします。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。スポーツセンターのバス停設置、夜の市民会館のイベント、定期券について、どこかのタイミングで見直しが必要になってくると思います。そのあたりの説明をよろしくをお願いします。</p>
事 務 局	<p>定期券につきましては、初回購入の際は当日しか買えないという状況に実際今なっております。販売店さんの事務負担(会計閉めて報告事務があるので、取り扱いが難しい)、バスの運転手がそもそも日付を確認し辛いなどの関係もございまして、事前販売が実現しておりません。ただし、関係の方々と交渉し了解が得られるように働きかけていかなければならないと思っております。例えば、10日、1週間早く買えるようにできないかなど、個別に販売店さんに相談かけていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>二点目のスポーツセンターについてですが、これに関しましてはスポーツセンターに直接向かうのが難しくなった、岩崎台の住民が岩崎台・香久山福祉会館に行くことができなくなったという声をよく聞きます。これにつきましては、くるりんばすの成り立ちの原点が公共福祉施設巡回バスということですので十分に考慮していく必要があると考えております。</p> <p>逆に申しますと、くるりんばすは公共施設巡回バスですので、利益はまったく追及していないわけです。利益追求であれば、先ほどの年間95万人乗っているような愛知学院線にくるりんばすを走らせて名鉄バスさんから路線を奪ってしまえばその分稼げてしまうわけです。しかしそれはとんでもない話です。</p> <p>平成32年で計画が切れますので、そのタイミングで経路変更等を実施できるようにアンケート調査等の実施、名鉄バスさんとどのような候補があるのかというのを考え、設定をし、案を今後示していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。</p>
会 長	<p>ということです。はい、小宮山委員をお願いします。</p>
委 員	<p>意見じゃないのですが、ちょっと調べてほしいのですがね。さきほど市民会館でたとえばイベントがあった、でも帰るバスがないと、こういうことだと思うのですが、実態としてはですね、私どももあそこで1000人規模のイベントやったことあるのですが、あそこ事務所閉まるのが6時なので、職員が全部帰るの。それまでに役員全員帰んなきゃいけない。だからだいたい5時30分くらいにはイベント終わらなきゃいけないのです。だから私たちが5時何分にバスがありますよとご案内したのです。したのですが、ものすごく心が痛かったのは、1000人入った人が、あのバス、20人30人、乗るか乗らないような、まあ20人は助かるかもしれませんが、そのバスが本当に必要かどうか、違う次元でも考えないと。まず現場で、そのイベントがあった時に、どうなっているかっていうことをまず調べたほうがいいのではないかと。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。市民会館の利用実態なども調べて、どんな公共交通が必要か考えていただき、検討いただきたいと思います。今お話にもありましたように、平成</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
	<p>3 2 年に向けての見直しということになります。少し先なのですが、それは、再編実施等々出していて、基本的には我々きっちり計画を立てて、そして運行しているという前提があります。とはいえ、早急に直さなくてはならないところが明確になった場合には、直さなければならないと思っています。またそれもですね、運行を実際見ながら必要があれば直していくということが必要になっていくと思います。ありがとうございます。そのほか何かございますでしょうか。</p> <p>先ほどのご報告で、少し気になったのは、事務局は、収支は少し良くなったよ、市からの財政支出が減ったよということを強調されていました。確かに大変重要な税金ですので、税金の支出が減るといのは大事だと思います。一方で、利用者が減っているというのは大きな問題だと思います。ただ、再編直後で減っているという要因もありますが、一方でプライムツリーもオープンしましたので、本当であればもっと増えている可能性もあります。そのへんは我々真摯に受け止め、もう少し様子を見て、やっぱり利用者が増えないといけない、何よりもそこが一番大事であると思っています。ただ、後ほどご説明ありますが、高齢者の方がよく外出されているような状況もみえてきています。よく使われている方にはいいものになっているという面もありますので、一概に絶対値が減ったのでダメだということも言えませんので、そのあたりしっかり見ていきたいと思っています。</p>
委 員	<p>いろいろな人に会おうのですが、十人が十人不便になったと言っています。十人中、何人かはよくなったという人がいてもおかしくないのではないのでしょうか？</p>
会 長	<p>不満のある方は声を出されますが、よくなったという人はなかなか声をあげません。後ほど、全体的な報告もありますので、そのあたりも踏まえながら考えていけたらと思います。では、続きまして議題のほうに移っていきたいと思います。まず、(1)の議題について、事務局のほうからご説明お願いいたします。</p>
事 務 局	<p>(資料に基づき説明)</p>
会 長	<p>ありがとうございました。本来は決算ですので、監査報告いただきまして、それで承認という手続きを取りたかったのですが、年度がわりで監査委員の選出がされておらず、監査がなされておられません。従いまして、この後質疑に入りたいと思っておりますが、その前に今年度からの監査委員をですね、ご選出いただきたいとまずは思っています。規定によると互選ということになっております。どなたか監査委員へのご推薦お願いできますでしょうか。では、古川委員お願いいたします。</p>
委 員	<p>お金のことなので、市民の目などもあります。あまり利害の無い方が良いと思いますので、市民委員の川口委員、老人クラブからの委員である小宮山委員が良いと私は思います。</p>
会 長	<p>今、川口委員と小宮山委員にご推薦いただきましたがその他ございますでしょうか。では、川口委員、小宮山委員よろしいでしょうか？</p>
委 員	<p>はい</p>
会 長	<p>それでは、川口委員と小宮山委員にこれから監査委員をお願いしたいと思います。</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
	後ほど、通帳や領収書などを確認し、不正な支出等ないかしっかり確認をお願いします。先ほどの決算報告について、何かご質問・ご意見等ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、本来であればここで監査報告をいただくのですが、後ほど監査をしていただき、そこで問題がないということを前提で今回の決算を承認いただきたいと思いますがよろしいでしょうか。
委 員	異議なし
会 長	ありがとうございます。ただしそこで何か問題があった場合この承認は取り消しで再度皆様にお諮りするということで、よろしくお願いいいたします。それでは(2)の議題について、事務局のほうからご説明お願いいいたします。
事 務 局	(資料に基づき説明)
会 長	ありがとうございます。まだ未確定な部分もございますが、今年度の予算案ということでした。なにかご意見ご質問等ございますでしょうか。古川委員よろしくお願いいいたします。
委 員	先ほどアンケートというお話が出ていたと思うのですが、議題のアンケート調査を先に見させていただいたのですが、回答率が30%ということでした。中身をみたところ、アンケート至上主義というのは非常に危険だと感じます。返してくれた3割の人はくるりんばすに関心がある人がほとんどで、あとの7割は関心がない人だと思います。この7割の人の意見が全く消えてしまっていると思います。そのアンケートをすべての基礎にするというのは全く間違っていると僕は思います。先ほどからアンケートに300万かかるとかあったのですが、そのへんもう少し考えていただき、本当の声を拾わないと正しい民意の反映にならないと強く思いました。
会 長	アンケートをすべてにしている訳ではないと思います。少なくともこういう声があるということです。具体的には、どのように意見を拾えばいいのでしょうか？
委 員	アンケートに答えた人の意見だけ汲み取ると、3割のひとの声だけですべてが決まってしまうわけで、そのような危険性があるわけです。具体的にどうしたらいいというのはありませんし、確かに全体を知ることは難しいですが、アンケート至上主義は危険であるということをおきたいと思います。3割の人でもマイナスのことを言っているので、実態はもっと違うのではないかと思います。
会 長	ちなみに、このアンケートは利用者対象です。また、アンケートにお答えになる方はどちらかという不満を持っている方々のほうが多いです。それと、3割というのはかなりの回答率で、全体の回答割合はかなりの精度で推計できると科学的にも立証されております。通常であれば5%で十分といわれます。ただ、とはいえ個別の意見、自由記述というものがございまして、これはまた別の取り扱いをしなければなりません。今回ここで書かれているのは、不満がありながらも乗り続けていらっしゃる方々なのです。ところが、不満によって耐え切れなくなり乗らなくなってしまった人の意見が反映できていません。そこが大きな問題です。そこで、今回のアンケートではそれも含めて住民の方々にお聞きしましょうということです。ただし、ここで大きな問題があ

発 言 者	内 容 (要 旨)
	<p>りまして、先ほど申しましたように市民の中で、そもそもくるりんばすに乗っている人が1割なんです。9割の人は乗ったこともないわけで、評価のしようがないわけで、かつ全員から回答いただけるわけではなく、おそらく住民の方対象ですと4割ほど帰ってくると思います。つまり、4%くらいということなんです。かつその中で利用をやめてしまった人というのはもっと少なくなります。ですからこれは、非常に難しい問題です。一方で、住民懇談会等で直接意見を聞いていくことも行わなければなりません。ですが、これは声の大きい人の意見にどうしても引っ張られてしまうわけでして、皆さんが思っていることと違う方向に進んでしまう可能性もあるわけです。逆に言うと、それを補正するのがアンケートということだと思っています。いずれにせよ、アンケート至上主義ではありませんので、それはみなさん共通の認識を持っていただけたらと思います。では、小宮山委員お願いします。</p>
委 員	<p>先程の説明の中で、単に声優バスをやるという説明で市から予算が下りたということには少し驚きましたが、何をやるのかと言うことが一番大事だと思います。私としては、老人向けにやってもらいたい。老人にもっと乗ってくださいますと伝えるようにしてもらいたいです。それから、税金を使う以上、事業の効果のチェックは必ずやりましょう。あと、せっかく良いことをやるのであれば、メディアに話をもっと話を振りましょう。中日新聞、朝日新聞などありますけど、例えば中日新聞の土日のホームニュースなどは記事を書きたくて仕方ない。そう言ったものを使っていくようにお願いします。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。ちなみに声優バスの説明を事務局からお願いします。</p>
事 務 局	<p>具体的な交渉が今後出来るのかどうかははっきりしていませんし、予算的な部分もありますので、あまり期待を持たせるようなことも言えないのですが、アニメ等の有名なキャラクターの声に似せたような声でアナウンスを行う予定です。先程、高齢者向けに実施してはとのご意見を頂きましたが、一方で利用が一番少ない若い年代の方にもっと乗ってもらいたいとも考えております。今回の声優さんは30代～20代の方が良く知っている方ですので、そう言った層への需要喚起として実施してみたら面白いのではないという事で予算の要求を行いました。</p> <p>もう1点、マスコミを使ってもっとPRしていった方が良いとのご提案を頂きましたが、これは大変良いご意見でして、我々も取組を強化していきたいと考えているところです。日進市ではバスデータをGTF S化するという取組を愛知県で最初に実施しておりまして、これによってグーグルマップ上でバスの経路検索が出来るようになりました。実はこの取組について5月末ごろに記者発表を行う予定です。また、くるりんばすの位置情報もリアルタイムに見ることが出来るようになりましたので、こちらについても報道発表を検討しております。</p> <p>マスコミなどを使って、とにかく「くるりんばす」という名前を少しでも耳にしたらう事で認知度を向上させたいと考えております。</p>
会 長	<p>他にご質問はございますか。</p>
委 員	<p>先程、若い人に乗ってもらいたいとお話がありましたが、若い人は本当にくるり</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
	<p>んばすに乗りたいのですか。学生さんを見ているとほとんどが自転車、単車。四輪使っている人もいますけど。駐車場の問題もあるからなかなか止めさせてくれないから、自転車と単車使っていると思うけど。私の感覚でいうと、若年層はくるりんばすを使わなくても十分納得しているのではないかなど。しかもね、くるりんばすの走らない夜中に彼らはどンドン動いていますよ。本当に若年層がくるりんばすを必要としているか調べてください。使っていないのは事実です。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。おっしゃる通りですね。高校生とか、大学生とかは自転車で行っちゃいますよね。雨の日は（公共交通機関に）乗ってくるのですけどね。ちなみに、くるりんばす、若年層ではないですが、非高齢者の方々非常に多いのですよ。実は非高齢者の方々のほうが、高齢者の方々より多いという非常にまれなバスなのですよね。そういう意味では通勤にも使われている、あるいは、主婦の方が買い物などに使われているというバスであります。その中で、石田彰さん、私自身知らないのですが、これをやることによって、マスメディアに載ったり、あるいは全国に情報が発信されるということもありますので、それが若年層の利用に繋がるかどうかはともあれ、くるりんばすの周知にはつながっていくのだろうと思います。一方で、もし300万円もかかるのならば、それに対する評価はしないといけないよということですので、何のためにこの声優さんを使って、さらにその効果はどうだったか、しっかりチェックしましょうということで、それをしっかりと肝に銘じておきたいと思います。事務局もそのへんをちゃんとストーリーを立ててもらえればと思います。ありがとうございます。その他いかがでしょうか。はい、ではお伺いいたします。</p>
委 員	<p>子ども会連絡協議会の会長の近藤が他の会議に出ていまして、今日、私代理の出席なのですが、遅れてしまいまして申し訳ありませんでした。今、ずっとお話聞いていて思ったことをお話ししたいなと思ったのですが、このアンケートの有効性って、30%が有効ってことなのですが、たぶん、今、ネットでパンッと調べただけで、やはり1000票くらいの回収率がないと、効果性としてどうなんだと出てくるのですよね。今の時代。いや、わからないですよ、あくまでも、筑波大学の先生が書いたことにはそう書いてあるのですよね。それがどうかは分かりません。だけど、我々世代が、パンッと出てきちゃうのです。となったときに、有効性が、こういう風だから、この有効率が、有効性が保たれています、というものがいないから、これが果たして、有効なアンケートなのかどうか、指標があって、この有効率だから、このアンケートは有効性が保たれています、と言われるとちょっと納得はできるのですが、それなく回収率30%ですという、先ほどの話の7割の人は知らないじゃんって、無関心じゃんってなってしまうと、なんかこう、評価としてはどうなのかと、という風に感じたのと。</p> <p>くるりんばすっていうのを、僕正直乗ったことない世代です。言われた通りで、声優さんをつかって300万400万って話もいいのですが、乗られる方は高齢者の方が多いっていう話で、くるりんばすの最初の目的は、公共交通機関をつなぐって言うていたわけですよね。公共交通機関をつなぐ、高齢者の方々がたくさん使っている、だ</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
	<p>けど、声優さんっていうのは、いまの若い方々が知っている方で、私も正直知らないのですが、となると、一貫性がないっていうか、あの、日進の在住の声優さんです、だから使っているくらいで、その利用促進にしたいのか、逆に若年層に使ってもらいたい活性剤として使いたいのか、となったときに、たとえば、この間子どもが線路に投げ込まれたとかいうことを考えたら、夕方の我々の子供世代が、塾に通う時間帯に便数を増やすなりしていただいて、塾通いの子供たちの利便性を上げていただければ、おそらく若年層というか我々世代の親の送り迎えがあります、塾には駐車場がありません、路駐します、渋滞します、なんですね。それを、解消、そんなことが解消できるかはまた別問題なのですが、なんかもう少しそのあたり一貫性のあるお話をぜひ検討していただけると、うれしいです。高齢者が使っているけど、声を若手の人を使っているとかじゃなくて、なんかそんなような感じで考えていただくとなんかありがたいな、みたいな。なんか路線の名前を、たとえばスターウォーズの人がやっているようなのがあれば、なんかスターウォーズ路線とか、やってもらえれば、なんか、ちょっと良いかな、なんて、すいません。よろしくお願いします。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。アンケートのほうは、そもそも設計の話ですね。何票配って何票の回収率か、その回収率でなにを明らかにしたいのか、信頼性95%で何をしたいのか、その設計だと思います。それを実際にはですね、実際にはそれをする前に数字が出てきますので、そこでご紹介させていただければと思います。1000票必要だっているのは、いろんな前提があって、そのなかで1000だということだと思います。そこだけ捉えないようにしていただければと思います。</p> <p>それから二点目ですが、すごく大事なご指摘だと思っておりますが、何のためにこの有名な声優を使うのか、ですよ。それは結局何を評価するのか、ということだと思います。そこが、今、ストーリーが流れていないということですので、ちょっと検討いただくといい。ただ、事務局のおかげで、予算は獲得できたということですので、少なくとも日進市の財務畑は、これに予算を使う価値を見出してくれたということだと思います。とはいえ、我々として本当にそれにかかる価値があるの、という疑問があるということですので、いま一度整理いただければと思います。ありがとうございました。</p> <p>その他いかがでしょうか。ということで、ちょっとですね、中身がはっきりしないのですが、大枠といたしましては、今回、予算ということでありましたように、収入、支出ともに421万3千円ということです。ただし、アンケート及び声優さんの使い方に関しては、まだはっきりしておりません。ここはもう少し、事務局で、今のご意見をいただきながら、検討してもらいながら、有効に活用してもらおうという前提になるとと思いますが、その前提でこの予算案、ご承認いただけますでしょうか。</p>
委 員	(異議なし)
会 長	<p>はい、ありがとうございました。では、予算案としては承認させていただきましたので、中身については再度、慎重にご検討していただけたらと思います。ありがとうございました。では次(3)です、平成31年度生活交通確保維持改善計画についてという</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
	ことでご説明をお願いします。
事 務 局	(資料に基づき説明)
会 長	<p>ありがとうございました。これはですね、先ほどありました、生活交通確保維持改善計画の中の、フィーダー補助というものです。フィーダー補助といいますのは、支線ということになります。支線ということは、幹線もございまして、じつはこの幹線に関しましては、8ページ見ていただきますと、地域間幹線に該当するのは梅森線、五色園線、日進中央線ということになります。これはですね、県のほうから補助申請していただくことになっておりますので、ちょっとこの幹線に関しまして、まずは県のほうから補足いただけますでしょうか。じゃあ、塚崎さんお願いできますか。</p>
委 員	<p>愛知県交通対策課です。地域間幹線系統の進行状況等につきまして、補足説明させていただきます。まず、地域間幹線系統というものがどういうものかといいますと、主としては、市町村間をまたぐ主要な路線といわれている幹となる路線です。それについて、国の補助金上では、幹線系統といわれています。ただ、その国の補助金をもらうにあたってですね、この幹線系統につきましては、県の協議会で計画を策定する必要がありまして、現在このフィーダー系統と同じようにですね、31年度の計画の策定について、事務を進めている段階でございます。ここに記載されています対象路線、日進市さんが主として運営します、梅森線、五色園線、あとは名鉄バスさんが運営主体であります日進中央線につきましては、補助条件を満たすことが見込まれておりますので、現在、幹線系統として位置付けるように事務を準備しております。この計画の策定につきましては、6月の中旬に行われます県の協議会にて、計画の内容等を協議する必要があるのですが、実際にその計画に書かれる事業内容等ですね、効果目標とかですね、そういうものにつきましては、日進市さんや名鉄バスさん等にもご出席いただきながらですね、策定している段階ですので、その旨ご承知いただければなと思います。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。ということで、その幹線があつて、それに繋がる地域内フィーダー系統補助で、三本木線、赤池、米野木、岩崎、循環線があります。あくまでも支線だ、ということで、逆に言うと幹線も育てていかなければならないということになります。そしてその支線に対してこのような計画で補助をもらおうということですが、この計画、生活交通確保維持改善計画につきまして、何かご質問ご意見等ございましたらいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。じゃあ、塚崎委員。</p>
委 員	<p>続けて申し訳ございません。二点ございまして、一つ目はお願いなのですが、計画書の最後(18)、協議会メンバーの構成員、私どもの名前が愛知県地域振興部となっているのですが、3年前に地域振興部から振興部が変わっておりますので、こちらは修正していただけたらなと思います。</p> <p>もう一つなのですが、確認していただきたい所なのですが、今回計画の中で、車両購入に関する補助金が記載されていまして、ただこれ、幹線である五色園線で使われるものという記載がされておりますので、県の計画に記載すべき項目じゃないかなと思います。</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
	<p>ます。先ほど事務局の方から、車両購入の内容につきましては、事務局一任でお願いしますという発言もございますので、一度私どもと、日進市さん（事務局）のほうで確認しつつ、必要に応じて訂正等していただけたらなと思っております。以上です。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。一点目は単純なミスですので、地域を消してください。愛知県振興部に修正させていただきます。それから9ページですね、車両更新計画表で五色園線と入っております。五色園線は幹線でありますので、場合によっては県によって計画表を提出いただくということです。これはすみません、事務的な手続き上でどっちになるかというもので、ここは事務局に一任いただければと思います。いずれにしても補助はもらいに行くということです。ありがとうございます。では、二輪委員どうぞ。</p>
委 員	<p>愛知運輸支局の二輪です。同じく13の車両取得に関する補助の関係なのですが、場合によっては県のほうからという格好になりますので、どちらかという県にお願いする格好になるのかなと思うのですが、こちら読んでいただくとわかるのですが、車両取得にかかる定量的な目標効果という格好になっておりまして、こちらのほうなのですが、県のほうから出していただくのか、市のほうから出していただくのか、おそらく県のほうになると思うのですが、公共交通会議で合意の上で愛知運輸支局に出していただいた上で、最終的には国土交通本省のほうで内容・効果のほうを精査して、予算の範囲内で補助金を交付させていただくという格好になっておりますが、去年あたりから、いわゆる定量的、要は数値的なものを出すようにと強く言うことがありますので、これ見させていただきますと、この内容そのものと、特に定量的な目標や効果というものが特段の記載がないのかなと思われまして。とはいえ、今回の場合ですね、新しく車両を増やして運行回数や路線を増やすというわけではないので、一義的には利用者を増やすというような目標は立てづらいのかなと思いますので、それによって安全性が向上する、ちょっとそこらへんは具体的に考えていただきたいなという部分はあるのですが、例としては、いままでは点検や修理のために代替車両を使ったりとか、場合によっては運休をせざるを得ないということがなくなったりとか、代替によっていわゆるコミュバスではなく、日進市の場合名鉄さんの車両が走る格好になると思うのですが、そういうのが減るといことで、利用しやすくなるとか。あと、新しい車両を使って周知活動を行い、いくらか利用が増えるとか。あとは、当然車両が新しくなりますので、利用者の満足度が上がるのではないかと思いますので。アンケートも行うということで、満足度も調査されるかなと思ひまして。満足度なんかも調査されるようでしたら、そのあたりも数値目標・数値的效果として、上げていただけることができるのかなと思いますので、そのへんも一つ検討していただいて、出していただくようお願いいたします。最終的には本省のほうで中身を判断する格好になりますので、どれが良い悪いというのも私の立場で申し上げづらいのですが、場合によっては、今回承認していただいて出していただいた後に、本省のほうからの指導によって、事務局のほうに直していただくということもあろうかと思ひますので、それ</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
	も含めて承認していただけるとありがたいと思います。
会 長	はい、ありがとうございました。おそらく県から出してもらうことになる一方で、数値目標がないと。今いくつかご提案いただいたわけですが、その数値目標も市のほうに相談があって県に出していただくこととなりますので、事務局として何か数値目標はありますか。
事 務 局	そうですね、今お話しいただいたところによりますと、車の乗り心地などにおいては、毎年車内調査の中で項目を挙げて調査しておりますので、この乗り心地の数値を上昇させるというものを目標数値として設定することは可能かなと思います。あと、部品の交換回数の減少についてもですね、実は前回車両を買い替えたのですが、その時去年は年に何回くらい整備・メンテナンスしていたのかということの名鉄バスさんに聞きましたところ、年間36回やりましたと。要するに月に3回ですね、整備・メンテナンス・部品交換などをして安全な運行に努めていたと。これが新車になれば半分以下になると、15～16回になるというような話を聞いていますので、そのあたりを確認してですね、去年、買い替えに該当する車両が何回部品交換したのか、というところを具体的に聞いたうえで、それを買い替えれば、これだけ減りますよということに記載していきたいと思います。あと愛知県さんから、今お話のあった、今回買い替えるのは幹線だから市ではなくて県の計画に載せるのではないかというお話についてなのですが、私も実際そう思っていて、今回書く必要はないのではないのかなと思っていて、8ページの様式を見るとですね、一番の見出しがですね、生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画を含む）と書いてあるのです。いままでこれは「地域内フィーダー系統確保維持計画を含む」ではなくて、「地域内フィーダー系統確保維持計画」という記載でした。そのあたり気になってですね、これこっちでも載せて、さらに県でも載せないといけないのではないかなと思って、確認したところ、一応載せておいてくださいという回答が国からあったので、いったん今回載せたという流れになっております。このあたり事務について、もう一度国や県に確認とりながら進めていきたいなと思っておりますので、よろしく願いいたします。
会 長	ありがとうございます。ここに書くか書かないか、事務的な手続きだけの話なので、それで調整してください。いずれにしても数値目標としましては、提案ありましたように、車両の乗り心地というような満足度をまず入れましょうと。具体的な数値についてはちょっと検討させてください。それから、部品交換回数というのは今提案ということでございます。このような数値目標を追加させていただきたいということです。その他いかがでしょうか。では、川口委員お願いします。
委 員	すみません、バスの大きさなのですが、補助金はバスの大きさで決まってくるのですかね。循環線なのですが、30分に一本なので乗っている方も少ないですね。かなりバスも他の路線と比べて大きいです。なので、それにかかわる経費とか、補助金とかが減ってくるのであれば、どちらをどう計算したところで、どうかなと思ったのですが。
事 務 局	補助額についてはですね、小さいバスであっても中型であっても、上限額に達して

発 言 者	内 容 (要 旨)
	<p>しまいますので、1台につき750万円というのが上限、たぶんどちらを買っても同じ額になると思います。循環線の乗車人数が少ないのに対して大きいんじゃないかということですが、実は朝と夕だけはですね、一時的にすごい数乗ってしまっていて、そういったところのキャパを保つという意味では、必要というところで、なかなかどれが最適かというところを考えていくことは必要かと思いますが、現状はそういった状況になっていますというところで、ご了承いただきたいなと思います。</p>
会 長	<p>小さいバスで必要な時に大きなバス、とやってしまうと2台持たなければなりません。すごく無駄です。そういう意味では、名鉄バスさんみたいなところはたくさん車を持っていますので、この時にここ、この時にここ、とこういうように割り当てできるのですが、日進の場合7台しか持っていないので、もし2種類持とうとすれば14台も持たなければならない。半分寝ちゃうのですよね、無駄です。そうすると、一番多い利用者に合わせた車両を使わなければならない、ですよね。逆に小さい車両で走らせてしまうと乗れない人が出てきちゃうのです。積み残しになってしまいます。もうひとつは、バスの大きさで値段はそんなにも変わらない、ということもあるかと思います。ドライバーさんの経費も変わりません。大きいバスを運転していただいても、小さいバスを運転していただいても、ドライバーさんの賃金は一緒。ということですので、安全策をとって、道路が許す限りで大きいので運行するということになると思います。ありがとうございました。その他いかがでしょうか。はい、では二村さん。</p>
委 員	<p>赤池のロータリーにバスが入れないというような話がありましたが、どうなりましたか。</p>
委 員	<p>普段運転に携わらせていただいているものですが、おかげさまで問題なく入れるようになっております。</p>
会 長	<p>ありがとうございました。そこは無事だということです。その他いかがでしょうか。少し一点だけ。先ほど外国人観光客という話がありましたけれども、GTFS化していますので、外国語表示に対応しています。これは書いていただいてもいいのではないですか。</p>
事 務 局	<p>ただ、項目については、今後新たに作成する計画に対して何をしたのか、ということです。そのため、これに該当しないため、今回は記載していません。</p>
会 長	<p>わかりました。その他よろしいでしょうか。そうしましたら、愛知県さんの組織の変更、それから車両補助をここに入れるかどうかは事務的、県か日進市かそれは後ほど決めてください。数値目標に関しては、ひとまず乗り心地に関する満足度、それから部品交換の回数等を入れさせていただきます。ただし、本省のほうからいろいろ指導があるかもしれないので、そこは変更があるかもしれません。なので、これを精査していく中で、多少の文言の修正等々もあるかもしれません。それはですね、事務局に一任いただければと思いますが、そういう前提で、今回の生活交通確保維持改善計画についてご承認頂けますでしょうか。</p>
委 員	<p>(異議なし)</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
会 長	<p>ありがとうございました。ではご承認いただいたということで、これを適切に申請していただいて、できるだけ多くの補助金を得ていただければと思います。</p> <p>では(4)その他について、事務局他に何かございますでしょうか。</p>
事 務 局	(資料に基づき説明)
会 長	<p>ありがとうございました。これに関しまして、質問・ご意見等ございますでしょうか。では、小宮山委員お願いいたします。</p>
委 員	<p>あの、すいません。この最初の調査はどこがおやりになって、ここにコメントがありますね。たとえば、満足、やや満足の回答した人が3割を占めるとか。これはどなたがお書きになったのですか？</p>
会 長	<p>では、私から回答させていただきます。これは15年ぐらい前からうちの研究室で調査させていただいております、じつは15年間のデータが残っております。うちの研究室の学生、あとは名城大学の学生を使って、調査させていただいております。それから、コメントは正直に言いますと、調査担当した学生がですね、主なところだけをピックアップして書かせていただいております。</p>
委 員	<p>わかりました。それでですね、あの、学生さんが作ったのはわかりました。ただし、この場でこれが出てくるときにね、市の方がこれをチェックしないまま出したのかと、ということなのですね。もし、このままですとね、この会議、このアンケートに対する姿勢っていうのがね見えるのですよ。たとえば、例として15番取りましようか。15番、満足・やや満足が3割占めている。ただし、不満のほうは50%あるのですよ。問題はね、不満が50%あって、大事なことは不満っていうのは半分以上あって、その人たちがどういうことを言っているのかっていうところにいくのが筋なのですよ。このコメントでね、3割満足でしたじゃあ、データはその通りですけどね、違うのですよ。大事なことは不満な人、不満って言われたら何がいけないのでしょうか、どうしたらいいのでしょうか、なんか案はありますかと、いうのを進めなければいけない。なんかね、私ね、ここのコメントを見るとね、なんかね、姿勢が見えてくる気がして、非常に残念です。</p>
会 長	<p>はい、ありがとうございます。えっと、私が言い訳しなくてもいいのですが、本来は市がですね、もういっぺん構成しなおして、コメントも付け直していただければ一番いいのですが。もうちょっとという、我々が編集するときに、そこを、一番重要なところを、おっしゃられるように、実は不満が増えているのですね。これはですね、言い訳させていただきますと、例年、満足・やや満足が多かったのですよ。で、昨年コメントが、満足・やや満足が6割占めるとか、5割を占めるというふうだったのですね。それで、彼らはそれをひな形に書いているので、そのままになっちゃってっていうのがありまして、すみません。これは私の指導不足であるとともに、やはり、今おっしゃられる通り、その結果を受けて市としての姿勢を出していただくことが重要であったと思いますが、それは今後ですね、そういう形で今一度見直していただいて、出させていただこうと思っております。ありがとうございました。</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
委 員	<p>今お話伺ってよくわかったのですが、さっき、アンケート至上主義はちょっと危ないよというお話がありました、全くその通りです。ただし、継続的にデータを取るというのはものすごく大事なのです。長い間で上がったたり下がったりしてはいますが、それを読み取って、だから、この一年のことじゃなくて、去年おとしからどういうふうに変化していった、それはなんなんだろうねと、いうところがものすごく大事なのだ。そこの所がね、むしろ、1回のアンケートじゃなくて、時系列で、最低でも5回くらいとって、どうなってきたと、それはなんなんだったことが大事なのです。それだけの貴重なデータがあるということは非常に財産だと思いますので、それを上手に使うことを考えていきたいと思っています。</p>
会 長	<p>ありがとうございます。あの、おっしゃられる通りです。市のほうにはこのデータ全部ありますので、5年間とか、経年的に見てもらおうといいと思います。実はこの、満足度というのはすごく下がっているのですね、先ほども申しましたが。やっぱりこれはちゃんと真摯に受け止めないといけないなと思っていて、それに、もっと言うと、どういう方々が、不満になっているのか、どのコースの不満が高いのかも分かりますので、そんなのも見ていけたらいいのかなと思います。ありがとうございます。その他、いかがですか。二村さん、お願いします。</p>
委 員	<p>三年ごとに見直し、調査は必ずしもしなければならないものですか。</p>
会 長	<p>調査は先ほども申しましたが、毎年行っています。それで、その都度その都度どのように変わるのか見ているのですが、残念ながら今、その年だけその年だけですので、これからは比較をしましょうということになりましたので、少し過去と比較させていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。ありがとうございます。では、古川委員お願いします。</p>
委 員	<p>あの、先ほどですね、名城大学の学生さんがアンケートとられたということは分かったのですが、この1140部っていうのは日進のどういう、あつ、どの、学生さんがどのようにしてアンケートを取ったのか具体的な方法をちょっと教えてほしいのですが。</p>
会 長	<p>ここを見てもらうとわかるのですが、全線の利用者です。全利用者の方々に配らせていただいているのですが、複数のられる方がいるのです、一日に3回、4回と。実は多い方、一日に10回も乗車している方もいるのですが、そういう方には1回しか渡していません。バスに乗っている人に直接手渡しして、後ほど郵送回収です。ですから、ここで我々が注意しなければならないのは、やめちゃった人の意見がないのです。ものすごい不満のある方がいて、その方々の意見が入っていません。ですから、それを今年、市として調査しよう。</p>
委 員	<p>直接手渡ししているのであれば、当然面と向かっているわけですから「返さなければならぬ」という意識が働き、先ほど先生は回収率が高いとおっしゃっていましたが、それは当然、回答率は高くなるじゃないですか。だから、先生がおっしゃったのは一概に正しいとは言えない。いかがですか？</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
会 長	<p>そうになっていただければありがたいのですが、日進だけでなく他の自治体でもお配りして、返していただいています、回収率はせいぜい3割くらいでございます。かつ、回答を見させていただくと、やはり今回の再編で言いたいことがある人たちがほとんどですね。ですから、自由記述の量がものすごい数でありまして、そういう方々がどうしてもお返しになることが多いのではないかなど、いう気がします。ただ、一方で感謝の言葉もありまして、そういうことも書きたい方々は「助かりました」と。ですから、自由記述も本当は皆さんに見てもらいたいのかもしれませんね。これは市民の声ではありません。利用者の声です。それからもう少し言いますと、1ページの年齢を見ていただきますと、65歳以上が6割占めています。ところが実際の利用者は、5ページ図C4の実利用者数を見ていただくと、これが本当の、何回乗っても一人としてカウントしなかった場合ですね、そうすると、65歳以上の方36%なのです。この意味は、若い方々はお返ししていない。お年寄りの方々がお返ししている。これはでも、どこの自治体も一緒です。どこの自治体でも、大抵、我々のような年代か、もっと若い年代の方は「別にどうでもいいよ」というような感じですが、でもお年寄りの方々は、ちゃんとお返しいただける。というのが実際です。ですから、年齢は実は偏っているということがあります。</p> <p>じゃあ、そうじゃない方の意見はどうとるかという、それはほかに取りようがない。地域懇談会やグループワークも行っていきます。ですが、それもそこだけの声ということになります。ですから、アンケート、地域懇談会、グループワークなどそれぞれの良いところをとって、うまく使い分けていかなければならないと思います。</p>
委 員	<p>意見を全然言わない人、ない人は無視してもいいってことですね。反映しようがないですものね。</p>
会 長	<p>よく言われるのは、サイレントマジョリティ。今に満足して、不服がないということだと思います。その他いかがでしょうか。よろしいですかね。あの、先ほどもありましたように、市としてこのアンケート結果をせっかくなので活用いただくという方法を検討いただくのと、あと経年的な変化を見たいということですので、その辺整理いただくとありがたいかなと思います。ありがとうございました。一応予定の議題はこれですべて終わりということで、ございますが、皆さま方のほうからもし何かございましたら。はい、では二輪委員どうぞ。</p>
委 員	<p>愛知運輸支局の二輪です。お手元にですね、去年と今年変わられた委員の方だけですが、活発で良い議論ができる会議のためにという冊子を配らせていただきました。こちらのほう、たぶん一昨年に配っていると思います。私居なかったので確証はないのですが。たぶん、一昨年からいらっしゃる方は見覚えがあると思いますが、こちらのほうの冊子ですが、こちら中部運輸局のほうで作らせていただきまして、公共交通会議に参加していただくにあたりまして、特に一般の利用者の方、市民の代表の方はどのようなことを発言したらよいのかというのがわからないという声がよくありますので、それを受けて作らせていただきました。今日の協議を聞くに当たりまして、非</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
	<p>常にみなさん、ご自分の立場で、しかもご自身の周りの人たちのご意見も非常に集めてきていただいて発言していただいていますので、まあこの冊子要らないのかなとも思った次第でございますが、冊子の中身については、この場で事細かくは説明することは時間もないので差し控えさせていただきますので、一度返ってご一読いただいでですね、参考にさせていただければと思います。ひとつ、これ、一番肝となるのは、真ん中の見開きの部分で、要は皆さん、いろんな立場で、市民の代表とか、交通事業者さんであるとか、あとは行政の代表とか、等の格好で出ていただいていますので、その立場で意見を言っていただくのはもちろんなのですが、ご自宅に帰って、先ほど話を頂いたような、近隣の方々の意見ですとか、またはバスに乗った時に乗り合わせていた人たちの意見ですとか、それも聞いてですね、その意見をこの会議で発言していただくというのがより良い公共交通、地域公共交通を作っていただくために重要なことだと思いますので、今後、そのように意見などを集めていただいて、それを委員の意見として発言していただくと良いのではないかと思います。また、ご一読いただいて、ご参考にさせていただければと思います。よろしく願いいたします。</p>
会 長	はい、小宮山さんにか。
委 員	<p>1 ページの見開きだけ、別途説明いただけませんか。公共交通が大ピンチだということ、もっと具体的に実態を教えてくださいませんか。なぜそうなってきたのか、ほっておくとどうなるのかなど。説明していただけないでしょうか。</p>
会 長	<p>そういう場があるといいということですよ。なるほど。一般の方々はまだそういう意識が薄いということで、状況をご説明いただける機会があると確かにいいですよ。</p>
委 員	<p>日進は大都会と過疎地のちょうど中間くらいなんです。過疎地が大問題なのはわかります。日進は今後どうなるのか、人口が減った時にどうなるのかという問題もあります。</p>
会 長	<p>市のほうから、そのあたりの説明は直接していただいたほうがいいかもしれません。</p>
委 員	<p>日進個別の問題もありますし、また、この先高齢化が進んでまいりますと、運転ができなくなったときに本当にこのような交通でいいのかという問題もあります。現状くるりんバスもありますし、名鉄バスさんもあります。努力はしているとは思いますが、経費などの問題もあると思いますので、そのへんは名鉄バスさんや市のほうからお話しいただければと思います。国全体の話でいえば、過疎地ではそもそもバスで経営ができない、日進市ほどの規模でも経営が厳しいので、そもそも経営ができない、というような状態もありますし。冒頭お話がございましたが、お金があってもそもそも運転手が足りないという人材不足という問題があります。</p>
会 長	<p>二輪さん、次回じっくりお話しいただければと思います。グラフ等の資料もあると思いますので。今、公共交通って大変なことになっているのです。ドライバーさんもなくて、大変なので。その辺は二輪さんから次回、資料をいただいて。それから、市の</p>

発 言 者	内 容 (要 旨)
	<p>状況、皆さんご存知のとおり昔名鉄バス走っていましたよね、日進市。そもそもそれが無くなってしまっている。そして今、コミュニティバスが走っているという状況や、いろいろ郊外、団地のことを含めて。次回の公共交通会議の前にさらっと、状況について説明を頂くということにしたいと思います。その時には、二輪さんから国の状況についても教えていただければなと思います。よろしいですかね。はい、ありがとうございました。では、ほかに何かございますでしょうか。よろしいですか、ありがとうございます。すみません、もう3時間以上もご議論いただいて、熱心にご議論いただいたということで、先ほどお配りしたところにもありますけど、皆さんにこうやってご議論いただくのは大事だと思います。そして、もう一つ言うと、言うだけでなく、皆さんから協力を頂いて、一緒に利用促進に向けて考えていきたいと思います。また、そのステップにこの会議全体がなっていければなと思います。どうぞご協力お願いいたします。では、以上を持ちまして私の進行を終わらせていただきたいと思います。では、進行を事務局にお渡しします。</p>
事 務 局	<p>長時間にわたりまして、皆さま本当にありがとうございます。おかげさまで、無事、活発なご意見を頂きまして、議事のほうを進行することができました。以上を持ちまして、平成30年度第1回日進市地域公共交通会議を終了いたしたいと思います。なお、次回の会議につきましては、事業の進捗に合わせて開催させていただきたいと思っております。それでは、お気をつけてお帰りください。ありがとうございました。</p>
	(閉会 11時43分)